

【山口県看護研究学会 演題募集要項】

1. 開催日 平成31年3月2日(土)
2. 会場 山口県看護研修会館
3. 演題申込期間 平成30年8月1日(水)から11月6日(火)まで

4. 研究発表申し込みについて

- 1) 研究内容 看護に関するもの。
次の項目をすべて満たしている演題を受け付ける。
(1) 未発表の演題であること。他の学会にも申込みしていないこと。
(他の学会、研究会および出版物等に投稿や発表していないものに限る)：施設内発表可
(2) 倫理的に配慮された研究内容であり、その旨が本文中に明記されていること。
(3) 看護職の免許取得後に行われた研究であること。
- 2) 申込資格 発表者・共同研究者とも山口県看護協会会員に限る。ただし、山口県看護協会の看護職以外の調査、研究を担当する職員はこの限りではない。看護職以外で会員と共同研究を行った者は、共同研究者として投稿原稿に記名できる。
- 3) 発表形式 口演または示説(ポスターセッション)。
- 4) 提出物 (1) 集録原稿1部
(2) 山口県看護研究学会演題申込書1部
(3) 集録応募チェックリスト1部

5. 選考方法について

投稿された集録は学会委員会で選考する。発表形式については、内容により調整されることがある。査読を経て審査があり、そのまま採択や、修正をした後に再審査で採択などがある。場合によっては採択されないこともある。

6. 採択決定後の原稿提出

最終選考で採択された者は、原稿を電子媒体(CD・USB等)で、指定期日までに送付する。口演発表者は、パワーポイントを電子媒体(CD・USB等)で、指定期日までに送付する。

7. その他

文献検索や原稿の書き方などについて不明な点は学会委員が対応する。

9. 送り先・問い合わせ

1) 送り先

〒747-0062
防府市大字上右田2686

山口県看護研修会館内 教育研修事業課 学会担当 宛
封筒には「看護研究学会原稿」と朱書きする。

2) 問い合わせ先

山口県看護協会 教育研修事業課 学会担当：TEL(0835)24-5853
学会専用アドレス・・・gakkai@y-kango.or.jp

【集録原稿作成要項】

1. 原稿枚数・文字数

A4 用紙3 枚，5200 字程度（引用文献・図表等を含む）

2. 集録原稿の様式（書式設定）

1) Microsoft Word を用いて作成すること。

2) 縦A4判に横書きとする。書式（ページ設定）は、余白は上：20mm，下：20mm，左：20mm，右：20mmとする。

3) 本文は2段組みとし，1ページ目：全角20字×40行×2段，2・3ページ：20文字×45行×2段に設定する。1枚目の上部の一段組の部分は6行分のスペースを使う。ページ設定，文字サイズ，書体，本文より上部の行数の変更は不可。

4) 和文フォントは「MS明朝体」で全角，英文およびアラビア数字はCenturyとする。

5) 表題の文字サイズは14ポイント，キーワード，発表者名および共同研究者名，所属施設名はいずれも9ポイントとする。

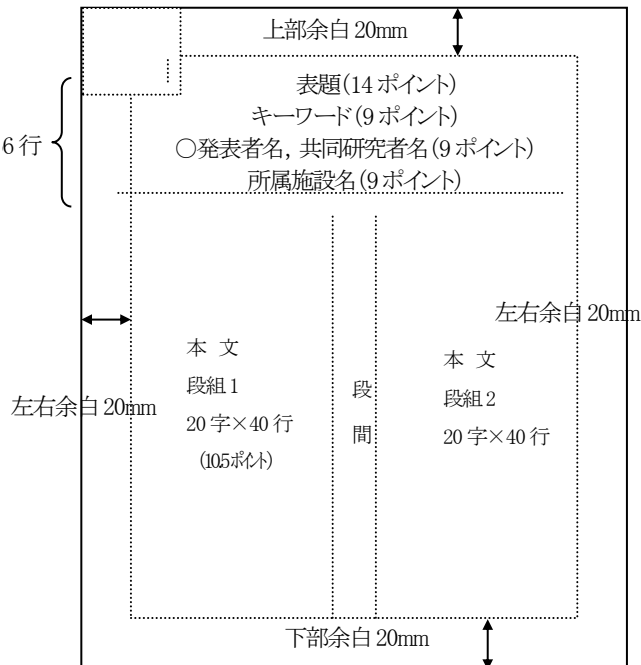
6) 本文の文字サイズは10.5ポイントとする。

【集録原稿見本】《1ページ》

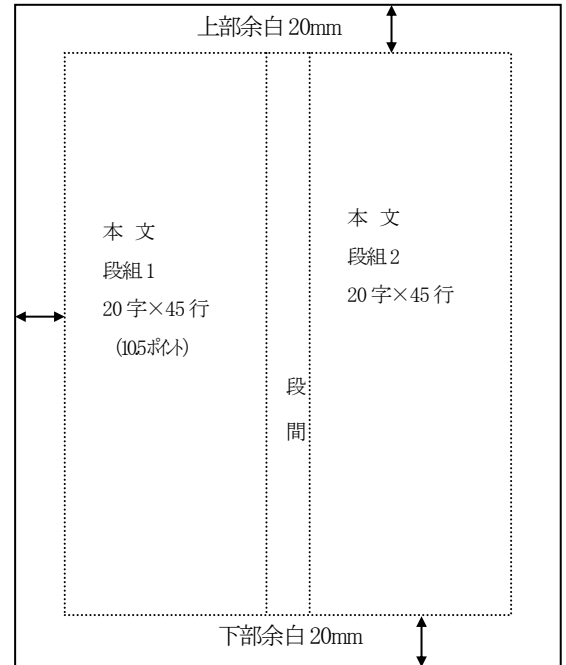
1ページ

■ 上部に一段組みで表題，発表者名（氏名の頭に○印を入れる），共同研究者名，キーワード（抄録内容を表す重要な語句を3～5個）を入力

■ 上部一段組みの部分は6行分のスペースを使う



《2・3ページ》



3. 構成

- 1) 本文の構成は、以下の通りとする。下記のほか、図表・引用文献を含めA4サイズ3枚以内とする。必ず、ローマ数字を付しての構成とすること。

- I. はじめに
- II. 目的
- III. 方法
- IV. 倫理的配慮
- V. 結果
- VI. 考察
- VII. 結論
- 引用文献

- 2) 章節の表示法は、I II…、1 2…、1)2)…、(1)(2)…、①②…の順とする。

4. 引用文献

- 1) 引用文献は引用順に本文の引用箇所の肩に¹⁾ ²⁾ と番号をつけ、本文原稿の最後の一括して引用番号順に記載する。

※研究を行う上で重要な文献（尺度等）の出典は必ず記載すること。

- 2) 引用文献は次のように記載する。

<雑誌掲載論文>

著者名：表題名,雑誌名,巻(号),頁,発行年(西暦年次)。

例) 学会花子：看護研究の〇〇〇について,〇〇看護,25(11),p.35-38,2008.

例) 学会花子,日本協子,清瀬看子,他：看護の〇〇〇研究,第〇回日本看護学会論文集(看護管理),p.5-8,2015.

<単行本>

著者名：書名(版),発行所,頁,発行年(西暦年次)。

例) 学会花子：看護実践研究の手引き(3),〇〇看護出版,p.145-148,2006.

著者名：表題名,編者名,書名(版),発行所,頁,発行年(西暦年次)。

例) 学会花子：研究における〇〇,日本協子編,看護実践研究(2),△△出版,p.76-88,2007.

例) 前掲書1),p.100-115.

<翻訳書>

原著者名：書名(版),発行年,訳者名,書名(版),発行所,頁,発行年(西暦年次)。

例) Alice Williams：Nursing Research(4),2001,学会花子訳,看護研究(4),〇〇看護出版,p.298-280,2003.

<電子文献>

著者名：表題名,雑誌名,巻(号),頁,発行年(西暦年次),アクセス年月日,URL。

発行機関名(調査/発行年次),表題,アクセス年月日,URL。

例) 文部科学省,厚生労働省(2014),人を対象とする医学系研究に関する倫理指針,2015年4月10日閲覧,<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf>.

※公的機関から提供される情報(統計,法令等),電子ジャーナルのみを対象とする

- 3) 共著者は3名まで表記し、それ以外は他とする。

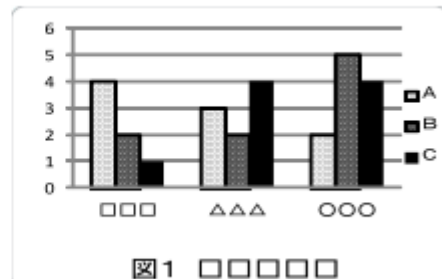
5. 図表について

- 1) 図・表を挿入する場合、論述の根拠となるデータを厳選し、図・表の文字、数字は半別可能なものを挿入すること。
- 2) 図表のレイアウトは自由とするが、段をまたがって図表を挿入する場合は、左右上下の各マージンよりはみ出ないように注意し、当該ページの最下段あるいは最上段に配置し、本文が図表等によって中断されないように挿入すること。
- 3) 写真・図・表は、白黒の写真製版で判別できる明瞭なものであるか確認すること。
- 4) それぞれ必ずタイトルをつけ、図表番号を記入する。タイトル、図表番号の表記は、表の場合は上部、図の場合は下部に記入する。

<記入例>

表1 □□□□□□□□

	□□□	△△△	○○○
A	4	3	2
B	2	2	5
C	1	4	4



6. 倫理的配慮とその記述について

- 1) 原稿を作成する前に、日本看護協会ホームページ (<http://www.nurse.or.jp>) 「倫理的配慮とその記述について」を必ず一読されたい。個人情報の取扱いは、個人情報保護法、「看護研究における倫理指針」(日本看護協会.2004年)、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」(厚生労働省.2010年)、「看護者の倫理綱領」(日本看護協会.2003年)、「臨床研究に関する倫理指針」(厚生労働省.2008年)および所属施設の規定に従う。
- 2) 研究を行う上で重要な文献(尺度等)の出典は必ず記載する。
- 3) 倫理的配慮についての留意事項(投稿にあたり以下の倫理的配慮について確認する。)
 - (1) 研究対象者の研究承諾について明記する。
 - (2) 施設内の倫理委員会等に承認を得ていることを明記する。
 - (3) 研究対象者に研究による利益や不利益が生じる場合についての説明がされ、不利益が生じる場合には、その対処をしていることを明記する。
 - (4) プライバシーに関して以下のことが守られていること。
 - ① 事例研究などの場合、対象が特定されないように配慮している。
 - ② 写真が添付されている場合は、人物が特定されないように配慮をしている。
 - ③ 固有名詞(地名、施設名など)は用いていない。
 - ④ 使用した物品・測定用具などは特定の企業を支持するような社名・商品名になっていない。(但し、新しい発見では、使用した物品及び測定用具の型番、社名製品名が必要)
 - ⑤ 薬については商品名ではなく、製剤名を記述する。
- (5) 他者や既存の尺度の使用時は、開発者の許可を得ていることを明記する。

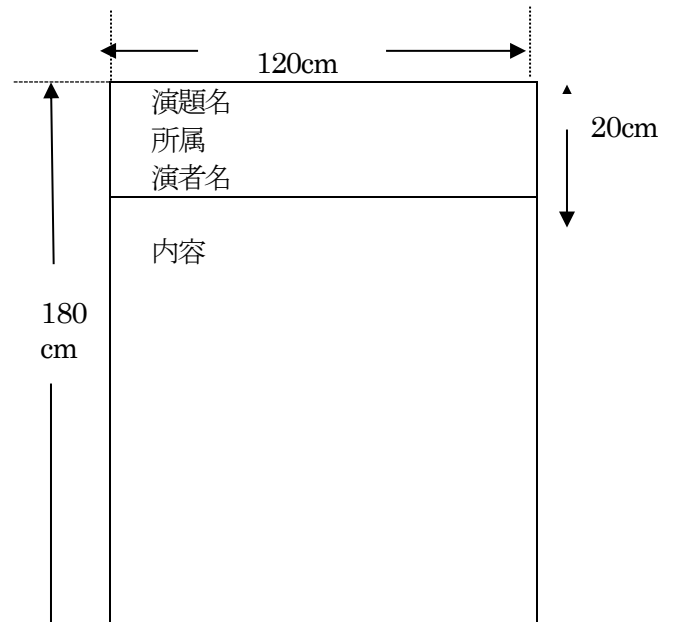
【学会発表方法について】

1. 口演発表

- (1) 発表時間は1演題8分。その後、その後質疑応答を1演題ごとに行う（質疑応答4分）。
看護協会のパソコン・プロジェクターを使用し、パワーポイントでの発表とする。
- (2) プレゼンテーション（パワーポイント）作成にあたっての留意事項。
 - ①プレゼンテーションとは、パワーポイントの文字を読むものではない。
 - ②文字は明朝体よりゴシック体の方が鮮明に写りやすい。
 - ③1枚の文字の量は、1行が14～15文字、8～9行が見やすい。
下端は10mmは余白をもつ。
スクリーンより5～6m離れてもスライドが見えることが必要。
コントラストがはっきりした方が見やすい。
 - ④内容とスライドの工夫をする。
 - ⑤動画やアニメーション、音声の使用は不可。また、考察は絵に描いたようなものだけを提示することはしない。
 - ⑥プロジェクターとパソコンは看護協会準備する。作成された発表原稿は、CD-R等電子媒体で、指定期日までに送付する。
なお、原則として、提出されたものは変更できず、提出された電子媒体は返却しない。
 - ⑦パワーポイント作成にあたっては、Windows 7, Power Point 2013で使えるよう作成する。

2. 示説発表

- (1) 発表時間は1演題5分。発表群の全ての発表が終了した後、個々に質疑応答（ディスカッション）を行う。
- (2) ポスター等、事前の提出は必要ない。学会当日に各自作成したポスターを持参する。
- (3) スライド・パソコン・プロジェクター・OHPは使用できない。
- (4) 1題ごと、縦180cm×横120cmのパネル1枚を使用する。
- (5) パネル内に、発表内容を収める。
- (6) レイアウトは自由。但し、イラスト、図表、文字配列を含め2～3m離れても見えるように表示を工夫する。
- (7) 表題、所属、演者名は各自で準備する。



【示説パネルの掲示】

- (8) ポスターの内容に人物の写真等を配置する場合は、研究内容を伝えるのにどうしても必要な場合のみとする。やむを得ず人物の写真を用いる場合には、必ず対象者の承諾を得る。その場合も個人が特定可能な顔や身体部分の露出を避けるなど、個人情報保護に努める。